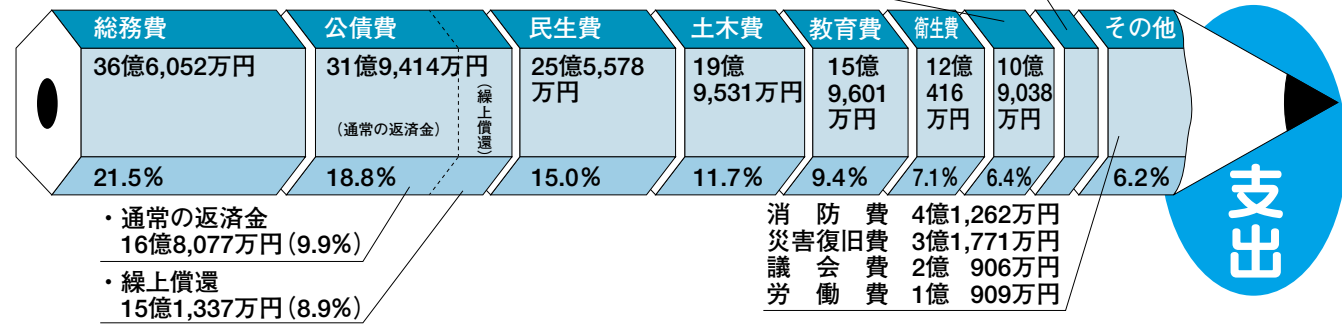


計169億9,750万円



支出



4月から本格稼働している生ごみ資源化事業所「シリウス」

ればならない借入金の返済は17億円で支出の10%ほどです。しかし、将来の負担を軽くするために、まだ返さなくてもいい分についても前倒して無理なく返しています。これが繰上償還です。それが14年度は15億円ほどになっています。白石市の場合は財政運営が比較的順調だからこれができるのです。

このように、7年度から利率の高いものを優先に返しています。現在、スパシユランド、白石城などの借入金はずべて返し終わっています。ホワイトキューブについても、15年度に10億円ほど繰上償還を行っていることから15年度末残高は9億円程度となり、

15年度より少ない繰上償還で16年度にも全部返せる額になっています。また、繰上償還を継続して行ってきたからこそ、現在の利率の低い好条件を活かし、積極的に事業を行ったり、サービスを損なうことなく利子以外の積立も行えるのです。

市では、この繰上償還に積立金(市の貯金)を使っていますが、平成14年度末の積立金残高は63億円ほどになっており、県内の10市中、仙台市に次ぐ現在高で、市民1人当たりにするが一番多くなっています。

以上、市民の皆さんがくらし日本一のまちづくりに向けて安全で快適に過ごせるよう

な財政運営に努めてきました。しかし、長引く景気の低迷による市税の落ち込みが続き、さらに、利子割交付金、地方消費税交付金も大幅に減となる一方で、生活保護をはじめとする扶助費や少子・高齢化社会による財政需要も膨らむ傾向にあります。また、地方交付税制度の見直しや地方分権の進展など社会経済情勢の変化への対応に迫られるなど、厳しい状況になってきています。よって、これからも市民の皆さんの安全と心のゆとりを築けるような事業を積極的に展開できるように、事務事業の見直しや財源確保に努めていきま

平成14年度決算

くらし日本一のまちづくりに

169億9,750万円

平成14年度の市の決算がまとまり、9月4日から9月24日まで行われた市議会定例会で認定されました。14年度も引き続き、くらし日本一のまちづくりを実現するために、いろいろな事業を行ってきま

決算は市の家計簿であり、皆さんが納めた税金や国・県からのお金がいくら入り、どのように使われたかをまとめたものです。今月号では14年度の決算のあらましをお知らせします。

平成14年度の一般会計決算は、収入(市に入ったお金)が約175億2千万円で、支出(市が使ったお金)が約170億円でした。差し引きで5億2千万円ほどの黒字決算となり、このうち2億2千万円ほどを基金(市の貯金)に積み立て、残り15年度に繰り越しました。収入で一番大きいのは、国からもらった地方交付税で約59億円、全体の33・4%になります。次は皆さんに納めていただいた市税で約42億円、全体の23・9%です。以下、繰入金(貯金の取り崩しなど)、市債(借入金)と続きます。

市では、皆さんが使う公共施設の整備のために有利な市債を借っています。

14年度も市道整備や学校、公園、白石スキー場などの整備のために13億円ほどのお金を借りましたが、その返済金の6割ほ

どを、国が地方交付税という形で支払いを約束しています。そのために、白石市には地方交付税が多く入ってきているのです。

それでは、どんなことにお金を使ったか見てみましょう。支出で一番大きいのは総務費で約37億円、全体の21・5%になります。次は公債費(借入金の返済金)で約32億円、全体の18・8%です。以下、民生費、土木費と続きます。

具体的には、環境負荷の低減と農業の振興や児童生徒に対する食農教育などに資するため、生ごみを電力と熱に変換させる生ごみ資源化事業所「シリウス」を整備したをはじめ、生活援助員による在宅支援サービスや付加したシルバーハウジングや介護保険対応のデイサービスセンター「ぶな」、地域振興と地産地消を目指す検断屋敷の復原

と農家レストラン整備を中心とした材木岩公園など、安全で豊かな市民生活を維持するための施設を整備しました。また、景気低迷を反映し、就職難が深刻化していることから、市内高校の新卒者を対象とした緊急新卒者雇用対策事業を新たに実行したり、総合検診時に肝炎ウイルス検査、歯周病検診を実施し、市民の健康管理の一環として予防業務の充実を図りました。

さらに、生きがいデイサービス事業や配食サービス事業など、介護保険制度に該当しない在宅の高齢者世帯などの支援、育児の援助を行うファミリーサポートセンター運営事業、完全学校週五日制対応のホワイトパスカード利用助成事業など、市民生活を最重要視した施策に力点をおいてきました。

また、市では繰上償還を行っています。市が必ず支払わな

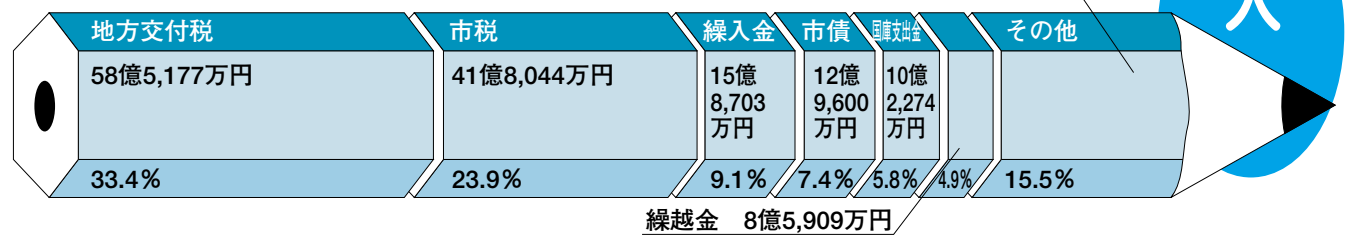
人口40,514人として
(平成15年3月31日現在)
市民一人当たりいくら?
(一般会計決算より)

☆税負担額	1,031,185円	県内10市中8位
県内10市平均	1,233,812円	
☆☆支出額	4,195,546円	県内10市中1位
県内10市平均	3,372,243円	
☆☆☆地方交付税	1,444,438円	県内10市中1位
県内10市平均	833,905円	
☆☆☆積立金(市の貯金)	1,554,599円	県内10市中1位
県内10市平均	711,155円	

特別会計

国民健康保険	下水道事業	介護保険	老人保健	農業集落排水事業	地方卸売市場事業	水道事業会計
収入 29億8,641万円 支出 29億3,403万円	収入 16億8,031万円 支出 16億8,031万円	収入 15億6,240万円 支出 15億1,518万円	収入 45億6,042万円 支出 44億6,104万円	収入 1億3,092万円 支出 1億3,092万円	収入 586万円 支出 284万円	収益的収入及び支出 収入 9億9,603万円 支出 9億6,760万円 資本的収入及び支出 収入 1億3,854万円 支出 2億7,985万円

計175億1,511万円



収入

県支出金 8億3,934万円
諸収入 7億516万円
地方消費税交付金 3億1,263万円
地方譲与税ほか 8億6,091万円